

令和3年度
第2回 栄区セーフコミュニティ推進協議会
災害安全対策分科会

書面により開催

報 告

- (1) 令和3年度 災害安全対策分科会の活動について

- (2) 令和3年度 地域防災拠点訓練実施状況について

(参考)

令和3年度 災害安全対策分科会委員名簿

所 属		氏 名	役 職
座長	栄区地域防災拠点 運営委員会連絡協議会	毛利 勝男	栄区地域防災拠点 運営委員会連絡協議会会長
副座長	栄区地域防災拠点 運営委員会連絡協議会	加藤 重雄	栄区地域防災拠点 運営委員会連絡協議会副会長
委員	栄消防団	加藤 正基	副団長
	栄火災予防協会	角田 宏子	会長
	栄火災予防協会	小石 榮美	副会長
	栄区自衛消防隊連絡協議会	武田 政美	住友電工株式会社 横浜製作所
	栄区社会福祉協議会	室井 慶之	事務局長
	栄区小学校長会	山崎 浩一郎	本郷小学校校長
	栄区中学校長会	松田 肇	飯島中学校校長
事務局		藤澤 智明	栄区副区長
		伏見 和久	栄区総務課長
		芦葉 昇平 山口 裕司	危機管理担当係長
		大野 和義	福祉保健課事業企画担当係長
		大谷 雅弘	栄土木事務所管理係長
		森田 進一	栄消防署総務・予防課予防係長

※敬称略

報告 1

令和3年度 災害安全対策分科会の活動について

1 家具転倒防止対策助成事業及び耐震補強の広報（継続）

チラシを使用した広報を行いました。

- ・区役所窓口での配布
- ・大船駅 PR ボックスでの配架
- ・栄消防署の防災訪問での配布
- ・総務課防災担当の出前講座での配布

2 「栄防災ノート」の改訂

家庭での備えや避難行動の考え方、災害時の情報収集方法などの啓発を目的として昨年度作成した「栄防災ノート」について、災害対策基本法の改正などを踏まえて内容を一部改訂し、新たに11,000部を印刷しました。

3 地域防災拠点への提案について

「報告2」参照

4 災害時要援護者支援の課題に向けた取組

各地域で要援護者支援の取組が進むよう、下記取組を実施しました。

- ・栄区内小中学校長に対して、概ね3教室を確保できるように依頼しました。
- ・災害時要援護者避難支援の取組を促進するため、自治会町内会に補助を行いました。
- ・要援護者支援をテーマとした講演会の動画配信や出前講座の実施、リーフレット「災害時要援護者支援ガイド」の配付、希望のあった自治会町内会への要援護者名簿の提供などにより、支援の取組を推進しました。

報告 2

令和3年度 地域防災拠点訓練実施状況について

災害安全対策分科会では、区内の地域防災拠点での訓練について、「防災訓練」から拠点の開設・運営に焦点を当てた「拠点運営訓練」へのシフトを推進するよう、【参考1】のとおり訓練実施項目に関する提案を行っています。

令和3年度の訓練実施状況ですが、新型コロナウイルス感染症の影響により、従前の規模や回数の訓練を実施することができていません。特に今年度は、いわゆる感染流行の第5波（令和3年7月～10月頃）、第6波（令和4年1月～現在）が秋、冬の訓練実施時期と重なったことで、中止や規模縮小となる拠点が多くなりました。

【参考1】 地域防災拠点運営訓練6か年計画（令和3年度5月改訂部分は赤字）

年度	実施項目	備考
令和元年度	避難者受付、トイレ対策	済
令和2年度	情報受伝達、特設公衆電話、要援護者対応	コロナ禍で未実施の拠点が多数
令和3年度	感染症対策（区割りを含む）、情報受伝達、特設公衆電話	実施項目や年度を見直し
令和4年度	要援護者対応、炊き出し	
令和5年度	学校、企業等との連携・夜間訓練	
令和6年度	総合訓練の実施	

【参考2】 令和3年度地域防災拠点訓練実施拠点及び実施項目（令和3年4月～令和4年3月）

拠点名	訓練実施項目（○）					
	避難者受付	情報受伝達	特設公衆電話	要援護者	トイレ設置	感染症対策（座学含む）
笠間小	○		○			○
西本郷中						○
小山台小	○	○				○
小菅ヶ谷小	○		○	○	○	○
本郷小	○				○	○
桂台中		○				
庄戸小	○	○				○
旧庄戸中		○				○

（備考）

- ・ 訓練実施：8拠点/20拠点（3月11日時点）
- ・ 住民を広く募る規模での開催はなく、運営委員会を中心とした規模で行われた。